あわら温泉が開湯130周年祭

8月6日～12月13日の130日間

湯かけまつりや芸術祭

感謝と期待　多彩なイベント

8月6日から「あわら温泉開湯130周年祭」がスタートする。開催期間は12月13日までの130日間。主催はあわら温泉開湯130周年祭実行委員会（あわら市観光協会内）。市民と観光客が一体となって楽しむイベントや全国から作品を募集する短編映画祭など多彩な催しが開催される。「ツナガルそしてツタエル」をテーマに節目の年を盛り上げ、さらなる地域の活性化につなげていく。

8月6、7日のオープニング式典で開幕。「酔宮（みや）」と題し、温泉発祥地公園にまつられている「お薬師様」を迎えるための美酒と音楽の饗宴が行われる。

8月8、9日には、温泉の恵みに感謝する「第10回あわら湯かけまつり」があわら湯のまち広場、あわら温泉街で開かれる。2台の湯かけ神輿と、ダイナミックな花車が温泉街を練り歩く。民謡の夕べも開催。市民と観光客が一体となって湯をかけたり、民謡を踊ったりして盛り上がる。福井の風習「饅頭まき」では1万3千個のまんじゅうを観客の前にまく。

130周年祭の期間中の毎週末には、市内のあわら湯のまち広場、にぎわい交流拠点「aキューブ」などでさまざまなイベントが開催される。イベントを開催する団体を募集して事業費を補助する形式で行われ、内容は順次発表される。

10月4～11日の「あわら湯けむり芸術祭」は初めて開催される映画コンテスト。全国から自主制作した短編映画作品を募集。旅館をはじめ市内の各施設で作品を上映し、来場者に鑑賞してもらう。一次審査は来場者の投票で行う。また、映画の鑑賞チケットと市内の店舗で利用できるクーポンをセットにして販売し、映画と街歩きの両方を楽しんでもらう。芸術祭は来年以降も継続して開催する予定。

130周年祭のフィナーレとなるイベントが12月12、13日に開かれる「あわら灯源郷」。竹筒をくり抜いてロウソクを灯した「竹あかり」を街中に設置する。温泉街をやさしい光で包み、幻想的な空間を演出する。観光客には、竹あかりの製作を体験してもらい、点灯もしてもらう。

あわら温泉　開湯は1883（明治16）年。農業かんがい用の水を求めて井戸を掘ったところ、約80度の温泉が湧出したのが始まり。その翌年には温泉宿が開業。鉄道の開通などを経て、温泉街として発展した。

現在のあわら温泉は、30軒ほどの宿が立ち並び、年間180万人を超す旅行者が訪れる北陸有数、福井屈指の温泉地。「関西の奥座敷」と言われるように中京・京阪神エリアはもとより、北陸新幹線の開通で関東エリアでも注目度が上がっている。

泉質は中性～微アルカリ性の含塩化土類食塩泉。泉温は33・5～77・5度。リウマチ、神経痛、皮膚炎などに効能があるとされる。湯の共同管理を行っておらず、各施設が源泉を保有。そのため施設ごとに温泉の成分が微妙に異なり、それぞれに違った感触の湯を楽しめる。

あわら湯かけまつり

第10回あわら湯かけまつり	にぎわい週末広場
8月8日（土）・9日（日） あわら湯のまち広場 あわら温泉街（湯～わくDori）	8月6日～12月13日の毎週末 あわら湯のまち広場 あわら温泉街（湯～わくDori） aキューブ（JR芦原温泉駅前）ほか
第1回あわら湯けむり芸術祭	**あわら灯源郷**
10月4日（日）～11日（日） あわら温泉旅館 あわら市内各施設	12月12日（土）・13日（日） あわら湯のまち広場 湯～わくDori

風情漂うあわら温泉街

足湯が楽める「芦湯」

あわら温泉開湯130周年祭実行委員会
（あわら市観光協会内）
TEL0776(78)6767　FAX0776(78)6760
ホームページhttp://awara.info/130/

開湯130周年を迎えたあわら温泉の注目旅館

まつや千千

北陸最大級の大浴場が自慢

▶「離座」の露天風呂

▶女性客用の露天風呂

5つ星の宿　観光経済新聞社認定®

まつや千千は、観光経済新聞社が認定する「5つ星の宿」に選ばれている

まつや千千（伊藤和幸社長）は、豊富な湯をたたえる北陸最大級の大浴場「千のこぼれ湯」が自慢の人気旅館だ。好みに合わせて選べる多彩な客室、福井県産の旬にこだわった料理も評判。上質なくつろぎのひと時を旅人に提供している。

自家源泉3本から湧く「千のこぼれ湯」は、男性用が露天風呂「万万の湯」や寝湯、つぼ湯など5種、女性用が露天風呂「百百の湯」やジャグジー、ヒーリングサウナなど7種。バラエティあふれる湯めぐりが楽しめる。男女の洗い場、女性用のパウダールームには仕切りを設け、周囲を気にせずに利用できる。

客室は計120室。和の風情あふれる「ゆうゆう館」、贅沢な造りの「せんせん館」、さらにワンランク上の「時忘れ離座（はなれざ）」。「時忘れ離座」は、全客室に源泉露天風呂を備えた特別フロアとなっている。

調理長が自信を持って仕上げる料理は美味の数々。食材は福井産コシヒカリ、若狭牛、福井ポーク、若狭のブリなど。「離座オリジナル懐石」は、厳選された海、山の幸が味わえる特別メニュー。団体客向けの「オープンキッチン」は、夕食、朝食を目の前で調理し、温かいものは温かいうちに、新鮮なものは新鮮なうちに堪能できる。

まつや千千は、観光経済新聞社が主催する「人気温泉旅館ホテル250選」で「5つ星の宿」に選ばれている。

◇まつや千千　☎0776（77）2560、http://www.matuyasensen.co.jp/

グランディア芳泉

別邸「個止吹（ことぶき）気亭」など人気

▶個止吹気亭のガーデンスイート

▶ゆとろぎ亭のスタンダードルーム

心を癒す極上の空間が広がるグランディア芳泉（山口透社長）。露天風呂付きスイートの別邸「個止吹気亭」をはじめとする粋をちりばめた客室は計113室。多彩な風呂では湯めぐり三昧。料理は越前の山、里、海の幸を堪能できる。

「個止吹気亭」は、格子戸の先に広がる大人のリゾート。書院造りの建物に贅を尽くした16室。1階の客室は苔むす緑の庭園に囲まれ、2階の客室には開放感あふれるデッキが備わっている。選任の料理人が腕をふるった懐石料理を部屋でゆっくりと味わえる。

スタイリッシュな和モダンをテーマにした離れ「ゆとろぎ亭」は、庭園露天風呂が付いた13室。客室タイプは「和室＋和ベッド」「和室＋リビング」「洋室ツインタイプ」など各種。食事は料亭「遊膳」の個室で楽しむ。

温泉は3本の自家源泉を持ち、肌あたりの柔らかい豊富な湯を楽しめる。展望大浴場には男女それぞれに露天風呂、内湯、寝湯・ジャグジー、サウナなど。他に足湯・歩行湯、貸切露天風呂も。「個止吹気亭」と「ゆとろぎ亭」の宿泊客には専用のひのき大浴場がある。

会議やパーティーに対応したコンベンションホールもあり、最大収容人数はシアター式の利用で600人に上る。

◇グランディア芳泉　☎0776（77）2555、http://www.g-housen.co.jp/